

ホルムアルデヒド放散等級	
F ☆☆☆☆	
防火材料等認定品	
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

塩ビクロスの塗替えにも

環境配慮形内装用水性塗料

ページG F4 3分艶

手垢がつきにくく、掃除がしやすい
汚染除去性・耐皮脂軟化性に優れた内装用塗料

塩ビクロス適正

塩ビクロス面の塗装に適用可能です。(撥水・防汚機能性クロスを除く)

耐皮脂軟化性

人の手などが繰り返し触れても、皮脂による塗膜軟化がおきにくい塗膜を形成します。

汚染除去性

緻密な塗膜を形成することで、汚染除去性(汚れ拭き取り性)に優れています。

美しい仕上がり

3分艶で落ち着いた品のある美しい仕上がりです。淡彩～濃彩まで調色対応が可能。

環境配慮形塗料

揮発性有機化合物を意図的に配合していない環境対応形塗料です。超低臭で施工後にもほとんど臭気が残りません。

防かび性

防かび性を有しているため、かびの発生を抑え、室内の清潔と美観を保ちます。

■ 用途

建築内装 新築、改修用の上塗り塗料

住宅、マンション、学校、病院、老健施設、飲食店、店舗、公共施設のホールなど

【適用下地】

コンクリート、モルタル、石膏ボード、塩ビクロス面、同種旧塗膜塗り替え面など

■ 商品構成

品名	艶	色相	容量
ページG F4 3分艶	3分艶	白、調色 (淡～濃)	15 kg 4 kg



■ 塗装仕様例

【コンクリート・モルタル・プasterボード面】

工程	塗料名 (水道水)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	被塗面に付着している汚れ、ごみ、粉等を除去し、清浄な面とする。					
下塗り	ラテックスプライマー#1000エコ (水道水)	10~20	0.10~0.13	1	はけ ローラー	3時間以上
上塗り	ページG F4 3分艶 (水道水)	10~20	0.09~0.11	2	はけ ローラー	3時間~7日

※ ページG F4 3分艶の塗り付け量は0.10kg/㎡です。
 ※ 使用量は被塗物の形状や吸い込みなどの状態によって、増加することがあります。
 ※ 上塗りに鮮やかな冴えた色相(高彩度色相など)を使用する場合は、下塗り塗料の色相は共色を用いて塗装してください。色相によっては、塗り回数を増やすなど事前に試し塗りを行ってご確認ください。
 ※ ケイ酸カルシウム板面の下塗り塗料は「シントー水性Mシーラー」を塗装してください。

【塩ビクロス・旧塗膜面】

工程	塗料名 (水道水)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
下地調整	表面に付着している汚れ、ごみ、粉等を除去し、清浄な面とする。 既存クロスのはがれ箇所がある場合は、接着剤などで貼り付け補修を行う。					
上塗り	ページG F4 3分艶 (水道水)	10~20	0.09~0.11	2	はけ ローラー	3時間~7日

※ たばこのヤニ、しみ等がある場合は中性洗剤等を用いて除去し、その後十分に水拭きし、乾燥させてから塗装してください。
 ※ かび発生箇所は消毒用アルコールで拭き取り十分に乾燥させてから塗装してください。
 ※ 特殊加工(汚れ防止・撥水など)された塩ビクロスへの塗装は避けてください。

■ 注意事項

■ 施工上の注意事項

- 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。
- 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能を発揮できないことがあります。
- 結露が予測される場合は塗装を避けてください。(特に早朝の結露、夕刻の露降には注意してください。)
- コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下(ケット科学研究所製CH-2)または5%以下(ケット科学研究所製HI500シリーズ)で、素地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。
- 著しい吸込み面に塗装の場合は、下塗りにシントー水性Mシーラーを塗装してください。また、旧塗膜が脆弱な場合にもシーラーが必要とする場合があります。予めご相談ください。
- ドアまわりのパッキンやゴム、プラスチックなどの可塑性を含むものと接触する部位への塗装は避けてください。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 常時ものが置かれる家具等(テーブル、椅子、ベンチ、棚、カウンターなど)には、色移り、粘着のおそれがあるため塗装をしないでください。
- 濃彩色や原色に近い色は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など触れる可能性がある部位への塗装は避けてください。
- 上塗りに黄、赤系など彩度の高い色を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、共色(淡彩)に調色した下塗りを塗装してください。
- 被塗物の形状や、膜厚、塗回数、塗装方法、希釈率の違いにより特に補修塗装時には色や艶が異なって見えることがあります。また塗継ぎ部分では仕上がり肌の違いにより艶むらが生じることがあります。試し塗りの上、本塗装を実施してください。
- ローラー塗装の場合、ローラー目は同一方向に揃えて仕上げてください。
- 被塗物の形状や、塗装条件(塗回数、塗り付け量、希釈率)、塗り継ぎ箇所などで、色相、艶感の仕上がり若干異なって見える場合があります。事前に試し塗りを先行確認してください。本施工を行う際には、面を区切って通しで塗装してください。
- 補修塗りは、使用された塗料と同一ロットのものを、同一の塗装方法で実施してください。(使用する塗料の控えを必ず取っておいてください。)
- 塗装方法により色が違って見える場合がありますので、ローラー塗は、できる限り入隅までローラーで塗装してください。
- 塗装中または塗装終了後の乾燥中は、換気を十分に行ってください。

■ 取扱いに関する注意

- 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 塗料の取り扱いには、屋外または換気の良い場所で行ってください。
- 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
- 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
- さげ缶に小分けするときは、十分にき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使用してください。
- 塗料開缶は原則として使用する直前に行ってください。
- 開缶後や作業中断時など、塗料の入った容器には常にフタをするように心がけてください。
- 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 使用した塗装器具は、直ちに水洗いしてください。
- 下塗り塗料に「シントー水性Mシーラー」を使用した場合は、塗装器具、洗浄に用いた水との共有使用は避けてください。
- 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。また、未開缶の塗料は出来るだけ直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

■ 塗装に関する注意事項

- 水系塗料ですので、シンナー類の混合は絶対に避けてください。
- 下地の形状、状態および温度、湿度、換気状況などにより、使用量増減、塗装間隔時間が変動することがあります。
- 希釈上限を超えての希釈は避けてください。隠ぺい性低下など仕上がり性に不具合が生じる場合があります。

■ 緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。

■ 廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■ 保管

- 塗料の保管は関連法規を遵守してください
- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。
 ※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
 ※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



本社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
 ☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
 東北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
 東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
 静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 <https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。